

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	利用者の居室の戸の窓に貼物をして夜間の明かりを防止している。又、壁に口腔体操の貼り紙を貼っていて利用者から見づらい。	ユニット内の環境整備が出来る。	利用者の居室の窓は厚手のカーテンを取り付けて夜間の明かりを防止していくようにする。口腔体操はホワイトボードに張り付けて毎回使用する時に利用者の前に出して口腔体操を実施していく。	3か月
2	38	冬期間の運動不足により身体機能の低下、歩行が困難になる恐れがある。	利用者が自分に合った姿勢で楽しみながら体操が出来る。	NHKのテレビ体操を録画して利用者がユニットに集まる時間を利用して、テレビ体操に参加して頂く。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。